

店員さん 狙われる名札

名札、見られていますよ。店員の名札やレシートからSNSの個人アカウトが特定され、つきまといわれるケースが出ている。フルネーム表記をやめるなど、企業もストーカー被害への対策を始めた。身近な困りごとや疑問を募って取材する朝日新聞「#ニュース4U」が実態に迫った。



「フェイスブック(FB)やってたんですね! ご飯行きませんか?」

近畿地方に住む20代の女性のFBに、こんなメッセージが届いた。送り主のプロフィール写真を見て、ぞっとした。勤務先のインターネットカフェによく訪れる30代くらいの男性客だ。

「検索してみたら出たw ネカフェの子だよな?。」はっとした。勤務先ではフルネームを漢字で書いた名札を胸につけている。

「お客さんだからむげに

FB特定 客から「ご飯行きませんか」



手作りの名札にニックネームを書いている串カツ田中の店員たち。9月20日午後6時25分、大阪市中央区、矢本隆晴撮影

できない。無視すると逆上されるかもしれない。最低限の返事は送り、食事の誘いは「彼氏がいるので」と断った。それでも来店時に「メッセーシ見た? 返信ちょうだい」と直接声をかけられることもあった。女性はFBを退会。店長に許可をもらって名札は名

表記変え対策 名字のみ・あだ名・偽名

施行されたが、被害は後を絶たない。大手名札メーカーによると、ここ数年はフルネーム表記をしていた企業の大半が名字表記に切り替えた。従業員がSNSで氏名を検索されてストーカー被害に遭ったケースなどが目立つという。

家電量販店「ヨドバシカメラマルチメディア梅田」(大阪)では、店員の名札に大きくひらがなの名字が記され、漢字のフルネームが小さく添えてある。携帯電話売り場担当の斎藤大輔さん(38)は「普段から名刺をお客さんに渡すので、日常的にフルネームで接客している。ただ、名前を特定されてSNSで検索されるのを不安に思う女性社員はいる」と話す。

フルネームを示す義務がある業種もある。薬局(ドラッグストア)では、医薬品医療機器法(旧薬事法)で定められている。漢字に加え、ひらがなとローマ字も併記するマツモトキヨシホールディングス(千葉)の担当者は「『かかりつけ薬剤師』を呼びかけており、お客さんに安心して利用してもらえるよう、個人情報より優先すべ

き面はある」と説明する。居酒屋チェーンの串カツ田中(東京)では、ニックネームの表記で、おすすめの「串」も記し、お客さんとのコミュニケーションツールとして活用している。大阪市内の店舗で働く女子高校生(16)は名札に「の」と書いている。「フルネームだったら抵抗があったと思う」。他店舗ではストーカー被害の恐れから、まったく関係ない名前をつけて、身を守る女性アルバイトも多いという。

邦篤さんは「登下校中の小学生も犯罪に巻き込まれるような名札を隠す時代。企業にとって従業員の安全を守るハードルが上がる一方、人手不足にも悩んでおり、対応せざるを得ない」と指摘する。

社員が堂々と「偽名」を名乗る企業がある。建設機械のレンタル大手「レンタルのニッケン」(東京)はその草分けだ。「芝桜一子」「俊足太郎」……。1987年に社員のプロ意識を高めるため、「ビジネスネーム」を導入した。広報担当の完成太郎さん(46)は「今では女性社員の採用が増えてきて、ビジネスネームが社員のプライバシーを守る役割も果たしていき」と話す。時代を先取りした形になった。

(坂東慎一郎、波多野大介)

「#ニュース4U」では身近な困りごとや疑問の投稿をお待ちしています。ツイッターでハッシュタグをつけてつぶやいてください。LINEはID「@asahi_shimbun」かQRコードで「友だち追加」をお願いします。